

## 自己評価および外部評価結果

| 自己         | 外部  | 項 目                                                                                     | 自己評価                                                                               | 外部評価                                                                                                               |                                                                                         |  |
|------------|-----|-----------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------|--|
|            |     |                                                                                         | 実践状況                                                                               | 実践状況                                                                                                               | 次のステップに向けて期待したい内容                                                                       |  |
| I 理念に基づく運営 |     |                                                                                         |                                                                                    |                                                                                                                    |                                                                                         |  |
| 1          | (1) | ○理念の共有と実践<br>地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている                      | 全職員で共通認識を持つため、年度初めの職員会議で理念を確認。基本方針と実践計画と合わせて説明し、実践に取り組んでいる。                        | 法人母体の理念を基に地域密着型サービスの意義や役割を考え、事業所の状況変化も踏まえ、職員間で基本方針や具体的なケアの在り方について話し合いながら意見の統一を図り、日々のサービス向上に活かしている。                 |                                                                                         |  |
| 2          | (2) | ○事業所と地域とのつきあい<br>利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している                      | 事業所の所在する地区の区費を支払い、地域住民としてほぼ毎月開催されるサロンに職員が参加。また、神社の清掃や収穫祭にも積極的に参加している。              | 事業所は地域住民の一員として地域行事や地域の共同作業にも積極的に参加する等、地元で必要とされる活動や役割を担っていく努力をしている。また、近隣の方々とは気軽な挨拶も交わされ、地域の清掃活動や収穫祭への参加も和やかに行われている。 |                                                                                         |  |
| 3          |     | ○事業所の力を活かした地域貢献<br>事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている                    | 認知症ケア相談支援事業を通し、認知症啓発活動のためのチラシ作成や配布、認知症サポーター養成講座を開催すべく、地域包括支援センター職員と共同し準備を進めている。    |                                                                                                                    |                                                                                         |  |
| 4          | (3) | ○運営推進会議を活かした取り組み<br>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている | 運営推進会議の場で出た意見をもとに、サービス向上のため取り組みを行っている。                                             | 2ヶ月毎に開催する会議では状況報告や情報交換のみではなく、メンバーからの質問、意見、要望を受け、双方向的な会議となっており、メンバーからいただいた意見をサービス向上に活かしている。                         | 定期的に運営推進会議を開催し現在取り組んでいる内容について報告し、双方向的な会議となり意見をいただいている。今後は家族や利用者の参加も得て、より良い会議となることが望まれる。 |  |
| 5          | (4) | ○市町村との連携<br>市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる           | 運営推進会議には、毎回地域包括支援センターの職員より参加いただいている。事業実績やサービス、取り組み事項について説明し、助言をいただいたり、情報の交換を行っている。 | 市担当者とは運営推進会議の中や認定更新の折などに、利用者の暮らしぶり、ニーズや意見等を伝えるなど連携を深めており、日頃から何でも気軽に相談出来る関係性を築いている。                                 |                                                                                         |  |

| 自己 | 外部    | 項目                                                                                           | 自己評価                                                                                                    | 外部評価                                                                                                           |                   |
|----|-------|----------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------|
|    |       |                                                                                              | 実践状況                                                                                                    | 実践状況                                                                                                           | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 6  | (5)   | ○身体拘束をしないケアの実践<br>代表者および全ての職員が「介指基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる | 職員会議の場で、身体拘束についての研修を行い、身体拘束をしないケアへの取り組みを行っている。                                                          | 法人全体で「身体拘束をしないケア」についてを定期的に学んでいる他、更に理解を深めていくため職員会議の場でも、毎月、身体拘束にあたる課題について話し合われており、利用者にとって抑圧感のない自由な暮らしを支えている。     |                   |
| 7  | (5-2) | ○虐待の防止の徹底<br>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている      | 職員会議の場で、高齢者虐待についての研修を行い、虐待の防止に努めている。また、日中玄関の施錠は行っていない。                                                  | 外部研修や職員会議の場で勉強会を実施し、「高齢者虐待防止法」に関する理解の浸透や遵守に向けた取り組みを行っている。また、管理者は職員の様子を窺いながら声をかけ、疲労やストレスが蓄積しないようメンタルケアにも配慮している。 |                   |
| 8  |       | ○権利擁護に関する制度の理解と活用<br>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している  | 社会福祉協議会で開催する権利擁護の研修に参加、社会福祉主事任用資格取得のため通信課程を受講し学びを深めている。また、現在ご利用者の成年後見について、地域包括支援センター協力のもと話を進めているところである。 |                                                                                                                |                   |
| 9  |       | ○契約に関する説明と納得<br>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている                       | ご利用者またはご家族と直接契約で説明を行っている。加算取得に関する、利用料の変更については、説明を行い同意書で同意を得ている。                                         |                                                                                                                |                   |
| 10 | (6)   | ○運営に関する利用者、家族等意見の反映<br>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている                   | ご利用者からは定期的に意見や要望を聞けるよう、個別に話を聞く場を設けている。また、ご家族とはご利用者の様子や連絡事項については密に連絡を取り、意見や要望をお聞きしている。                   | 毎月の家族への利用者状況の報告時の機会や、面会時にも気軽に話してもらえる雰囲気づくりに努め、意見を伺ったりアンケート調査の中でも意見や要望の把握に努めている。頂いた意見は会議の中で話し合い運営に反映させている。      |                   |

| 自己                         | 外部  | 項目                                                                                             | 自己評価                                                                | 外部評価                                                                                                                 |                   |
|----------------------------|-----|------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------|
|                            |     |                                                                                                | 実践状況                                                                | 実践状況                                                                                                                 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 11                         | (7) | ○運営に関する職員意見の反映<br>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている                                      | 年2回管理者と職員との面談の場を設けている。また、毎月開催している会議の場では、職員からの意見を聞けるよう工夫しながら進行している。  | 毎月の職員会議の中で意見や要望を聴く機会を設けている。職員が意見を言い易くなるような工夫もなされ、その場で出された意見やアイデアを取り上げるなど、運営に反映させている。そのことが職員の意欲の向上と質の確保に繋がっていると感じ取れた。 |                   |
| 12                         |     | ○就業環境の整備<br>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている      | 人事考課制度を取り入れ実施している。また、年2回の面談を通し、職場環境や業務改善、条件の整備に努めている。               |                                                                                                                      |                   |
| 13                         |     | ○職員を育てる取り組み<br>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている         | 年間を通じて研修計画を立て実施。また外部研修への参加機会も確保している。                                |                                                                                                                      |                   |
| 14                         |     | ○同業者との交流を通じた向上<br>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | 町内の3法人で協定を結び、定期的に研修会や交流会が開催されている。                                   |                                                                                                                      |                   |
| <b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b> |     |                                                                                                |                                                                     |                                                                                                                      |                   |
| 15                         |     | ○初期に築く本人との信頼関係<br>サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている           | 入居前にご本人と面談を実施。又入居前に利用していたサービス事業所からも情報を収集し、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。 |                                                                                                                      |                   |

| 自己 | 外部    | 項目                                                                            | 自己評価                                                                                   | 外部評価                                                                                                                                       |                   |
|----|-------|-------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------|
|    |       |                                                                               | 実践状況                                                                                   | 実践状況                                                                                                                                       | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 16 |       | ○初期に築く家族等との信頼関係<br>サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている     | 入居前にご家族、ケアマネと面談。不安や要望等の聞き取りを行い、話しやすい関係作りに努めている。                                        |                                                                                                                                            |                   |
| 17 |       | ○初期対応の見極めと支援<br>サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている | ご本人・ご家族との面談より、必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含め説明し対応している。                                      |                                                                                                                                            |                   |
| 18 |       | ○本人と共に過ごし支えあう関係<br>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている                 | ご本人のできることや得意なこと(洗濯、掃除等)は、暮らしを共にするもの同士、職員と一緒に取り組んでもらえるよう声を掛けを行い、暮らしの安心と安定を生み出せるよう努めている。 |                                                                                                                                            |                   |
| 19 | (7-2) | ○本人を共に支えあう家族との関係<br>職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている  | ご家族と定期的に連絡を取り、情報の共有やお互いの支援の確認、今後についてなど一緒に考える時間を設け、共にご本人を支えていく関係に努めている。                 | 毎月送付する手紙の中や、面会時に利用者の日々の暮らしの出来事や気づきの情報を伝えている。通院時の付添や自宅外泊等を通して協力的な家族も多く、共に本人を支えていく姿勢に努めており、今後もより良い関係を構築していけるための支援に努めている。                     |                   |
| 20 | (8)   | ○馴染みの人や場との関係継続の支援<br>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている              | 親類や知人が他事業所を利用している方は、事業所まで遊びに行き、お話ができるよう支援している。また、買い物など外出の機会の確保に努めている。                  | 本人がこれまでの地域社会との関わりを継続していくために、家族の面会時や交流のあった方、前事業者からの情報の中からその関係の把握に努めると共に、日々の暮らしの中でも本人の何気ない話の中から得られる情報も大切にしながら、馴染みの人や場との継続的な交流が出来るよう支援に努めている。 |                   |
| 21 |       | ○利用者同士の関係の支援<br>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている          | ご利用者同士が関わりを持つことができるよう、ホールの席や共同作業ができるよう工夫しながら支援を行っている                                   |                                                                                                                                            |                   |

| 自己                                 | 外部    | 項目                                                                                                     | 自己評価                                                                         | 外部評価                                                                                                   |                                                                                                   |
|------------------------------------|-------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------|
|                                    |       |                                                                                                        | 実践状況                                                                         | 実践状況                                                                                                   | 次のステップに向けて期待したい内容                                                                                 |
| 22                                 |       | ○関係を断ち切らない取組み<br>サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている                    | 入所後などでもお、必要に応じて相談や情報提供を行っている。                                                |                                                                                                        |                                                                                                   |
| <b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b> |       |                                                                                                        |                                                                              |                                                                                                        |                                                                                                   |
| 23                                 | (9)   | ○思いや意向の把握<br>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している                                           | 居室担当者が中心となり、ご利用者の意向やできることへの実現に向け話し、職員会議の場で検討。その内容をケアプランへ反映している。              | 入居前のアセスメントシートの活用や日常の関わりの中で、本人の思いや意向の把握に努めている。意思の疎通が困難な場合は家族から得た情報に加え、日々の生活行動から意向の把握に努め、職員間で共有が図られている。  |                                                                                                   |
| 24                                 | (9-2) | ○これまでの暮らしの把握<br>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている                                       | 生活歴や暮らしについて、情報を収集し、これまでの暮らしについての把握に努めている。                                    | 入居前に家族、本人、前事業者から日々の暮らし方や生活環境、また地域との交流状況について聞き取り、趣味や得意なものの把握に努めることで利用者をより深く理解し、これまでの生活が継続できるよう支援に努めている。 |                                                                                                   |
| 25                                 |       | ○暮らしの現状の把握<br>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている                                                     | 記録や毎日のミーティングで申し送りを行い、全職員がご利用者の状態の把握に努めている。                                   |                                                                                                        |                                                                                                   |
| 26                                 | (10)  | ○チームでつくる介護計画とモニタリング<br>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している | ご本人やご家族と話をする機会を設け、意見をいただき、それを介護計画に反映させている。<br>また、モニタリングについては全職員で内容を確認し行っている。 | 月1回、職員会議を開催し利用者の状態把握に努めている。また、家族来所時の意見や要望などを参考にモニタリングを行い、利用者が抱える課題についての意見や提案を反映させ、現状に即した介護計画の作成に努めている。 | 利用者が地域でその人らしく暮らし続けるために、今後はカンファレンスやモニタリングに本人、家族の参加も得て、お互いの気づきや意見、要望が反映された一連の記録の確認できる介護計画の作成を期待したい。 |

| 自己 | 外部   | 項目                                                                                         | 自己評価                                                                                                             | 外部評価                                                                                                                                        |                   |
|----|------|--------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------|
|    |      |                                                                                            | 実践状況                                                                                                             | 実践状況                                                                                                                                        | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 27 |      | ○個別の記録と実践への反映<br>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている            | 介護記録や連絡ノート、業務日誌、申し送り等を活用し職員間で情報の共有を行っている。また、毎月1回開催する職員会議の場でも話し合いを行い、介護計画の見直しに活かしている。                             |                                                                                                                                             |                   |
| 28 |      | ○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化<br>本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる | ご利用者を支えるため、緊急受診や買物、外出等状況に合わせた柔軟な対応ができるよう取り組みを行っている。                                                              |                                                                                                                                             |                   |
| 29 |      | ○地域資源との協働<br>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している             | 施設内行事では、地域のボランティアや区長さんに来訪してもらうなどして、暮らしを楽しんでいただけるよう取り組みを行っている。                                                    |                                                                                                                                             |                   |
| 30 | (11) | ○かかりつけ医の受診支援<br>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している        | かかりつけ医の定期受診をご家族で対応される方、介護保険外サービスを利用される方もいるが、緊急時や緊急受診の場合はGH職員で対応することもあった。現在では、希望を尊重しながらできる限りGH職員で対応できるよう体制を整えている。 | 利用者、家族が望むかかりつけ医に比べ、通院時の家族の協力も良く利用者は安心して受診できている。受診の際には主治医と連絡を取り合う様式を用い、受診状況についての情報交換を行い、家族と共に共有している。緊急時や家族の都合がつかない場合は職員が代行するなど安心できる体制が整っている。 |                   |
| 31 |      | ○看護職との協働<br>介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している | 看護師の配置はないものの、異変時や気づいた点について職場内の看護師に相談、助言をもらっている。また、必要に応じてかかりつけの医院に連絡し、適切な受診ができるよう指示を仰いでいる。                        |                                                                                                                                             |                   |

| 自己 | 外部     | 項目                                                                                                                  | 自己評価                                                                                                               | 外部評価                                                                                                   |                                                                                                                   |
|----|--------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|    |        |                                                                                                                     | 実践状況                                                                                                               | 実践状況                                                                                                   | 次のステップに向けて期待したい内容                                                                                                 |
| 32 |        | ○入退院時の医療機関との協働<br>利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。 | 入院時には安心して治療し早期に退院できるよう、職員が面会し相談員との情報の共有を密に行っている。                                                                   |                                                                                                        |                                                                                                                   |
| 33 | (12)   | ○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援<br>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域との関係者と共にチームで支援に取り組んでいる | 重度化や終末期のあり方について、ご本人・ご家族と話し合いの場を設けている。ご家族・ご本人が望む生活や今後考えられること、当事業所でできること等説明し、方向性を導き出している。必要に応じて、関係機関との連絡・調整支援も行っている。 | 契約時に重度化した場合や終末期の対応について、本人、家族に事業所ができる範囲の説明を行い理解を得ている。本人、家族の望む支援体制の共有理解の下、医療機関との連携を図りながら、要望に沿った支援に努めている。 |                                                                                                                   |
| 34 | (12-2) | ○急変や事故発生時の備え<br>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている                                              | 緊急時の対応としてフローチャートや緊急連絡網を作成。全職員で確認を行っている。また、年1回救急法訓練を行い、緊急時に備え実践力を身につけている。                                           | 緊急時事故発生時のマニュアルを基に緊急連絡網を作成し、AEDの設置、救急法訓練など緊急時に備え全職員が実施できるよう、知識、技術の習得に努め、実践に活かされるよう体制は整っている。             |                                                                                                                   |
| 35 | (13)   | ○災害対策<br>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている                                              | 消防署立ち会いのもと、避難訓練を実施。また災害時マニュアルについて全職員で確認を行っている。また、地域との協力体制について、現在運営推進会議の中で協議を行っている。                                 | 年1回防災計画に従い、消防署立ち会いの下、利用者の参加も得て避難訓練を実施している。避難場所、避難経路の確認も整っている。地域の協力体制については運営推進会議で提案し、検討を進めている。          | 避難訓練、避難経路確認など定期的に実施している。地域住民の協力を得た避難訓練は協議が行われ体制構築に期待できるところである。今後は、災害に備えた備蓄等の準備として、飲料水のみではなく、食料等や暖をとる備品の備えにも期待したい。 |

| 自己                       | 外部   | 項 目                                                                               | 自己評価                                                                                                          | 外部評価                                                                                                                                     |                   |  |
|--------------------------|------|-----------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------|--|
|                          |      |                                                                                   | 実践状況                                                                                                          | 実践状況                                                                                                                                     | 次のステップに向けて期待したい内容 |  |
| Ⅳ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 |      |                                                                                   |                                                                                                               |                                                                                                                                          |                   |  |
| 36                       | (14) | ○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保<br>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている                    | 施設の全体会議で、接遇やプライバシー保護の研修を実施し取り組みを行っている。                                                                        | 職員は事業所の理念に基づき、常に利用者の気持ちを大切に考え笑顔で穏やかに接するよう努めている。接遇やプライバシー保護の研修も開催しており、マニュアルを確認、振り返りの機会を設けている。職員同士による気づきの声掛けなども行われ、プライバシー確保に向けた取り組みに努めている。 |                   |  |
| 37                       |      | ○利用者の希望の表出や自己決定の支援<br>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている                      | ご利用者が思いや希望を表現できる関係作りに取り組んでいる。また、自己決定ができるよう、複数の選択肢を提案し、働き掛けを行っている。                                             |                                                                                                                                          |                   |  |
| 38                       |      | ○日々のその人らしい暮らし<br>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | ご利用者一人ひとりの生活やペースを大切にし、ご利用者の意思を尊重した暮らしができるよう、希望に添った柔軟な対応を行っている。                                                |                                                                                                                                          |                   |  |
| 39                       |      | ○身だしなみやおしゃれの支援<br>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している                                   | ご利用者・ご家族に確認しながら、事業所に来てくれる理容師さんに定期的に散髪をしてもらい身だしなみを整えている。また、希望があれば、町内の洋服店に買い物へお連れしたり、ご利用者と一緒に毎日服を選ぶなどの支援を行っている。 |                                                                                                                                          |                   |  |
| 40                       | (15) | ○食事を楽しむことのできる支援<br>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている      | 献立やメニューにもよるが、準備や下ごしらえ・後片付け等できることを行ってもらっている。                                                                   | 利用者は職員と一緒に食事の準備、食器の片付けなど、それぞれの機能や意向に合わせて行っている。献立は業者からの取り寄せとなっており、栄養士がアドバイスしている。敷地内の畑で利用者と職員が共に栽培したトマト、キュウリ、なす他、山菜など旬の味の料理も提供されている。       |                   |  |

| 自己 | 外部   | 項目                                                                                   | 自己評価                                                                                          | 外部評価                                                                                             |                   |
|----|------|--------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------|
|    |      |                                                                                      | 実践状況                                                                                          | 実践状況                                                                                             | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 41 |      | ○栄養摂取や水分確保の支援<br>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている              | 栄養士に献立作成をしてもらい、食事提供を行っている。また、栄養状態に合わせて医師とも相談し、経腸栄養剤を処方していただいたり、好みのも口にしてもらえよう希望に応じ購入していただいている。 |                                                                                                  |                   |
| 42 |      | ○口腔内の清潔保持<br>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている                      | 毎食後、口腔ケアの声掛けを行い、支援が必要な方には見守り・介助を行っている。また、ご家族や歯科医院と連携し、本人に合わせた口腔ケアを実施している。                     |                                                                                                  |                   |
| 43 | (16) | ○排泄の自立支援<br>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている       | 排泄状況や様子を把握し、必要時にはチェック表を用いて排泄の声掛けや誘導を行っている。                                                    | 在宅の生活習慣を活かした排泄状況を心がけ、自尊心に配慮しながら身体状況に応じて誘導している。病院入院後にオムツ使用で戻られたが、自立に向けた支援に心がけ現在トイレ誘導に改善された方もおられる。 |                   |
| 44 |      | ○便秘の予防と対応<br>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる                       | 食事や水分不足、運動不足による便秘への影響等に配慮し予防に努めている。                                                           |                                                                                                  |                   |
| 45 | (17) | ○入浴を楽しむことができる支援<br>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている | 基本的に入浴の回数は週ごとに定めている。本人の体調や状況に応じて、日をずらしたり、回数を増やすなど対応を行っている。                                    | 利用者の希望する時間帯や状態に応じた対応に心がけている。夏場はいつでも入浴可能な工夫も行なっている。                                               |                   |
| 46 |      | ○安眠や休息の支援<br>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している                        | 一人ひとりの生活習慣に合わせ、自由に休息をとっていただいている。また安心して気持ち良く眠れるよう、体操やレクリエーション、散歩など適度に身体を動かす機会を設けている。           |                                                                                                  |                   |

| 自己 | 外部   | 項目                                                                                                                               | 自己評価                                                                                                     | 外部評価                                                                                                                               |                   |
|----|------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------|
|    |      |                                                                                                                                  | 実践状況                                                                                                     | 実践状況                                                                                                                               | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 47 |      | ○服薬支援<br>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている                                                               | 薬局から出るお薬カードをファイルに挟み、目的や副作用、用法や用量について、常に確認しながら、服薬の支援と症状の変化に気づけるよう努めている。                                   |                                                                                                                                    |                   |
| 48 |      | ○役割、楽しみごとの支援<br>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている                                                  | 役割や楽しみを持って生活ができるよう、担当が主となりご本人の生活歴や力を活かした支援ができるよう取り組みを行っている。                                              |                                                                                                                                    |                   |
| 49 | (18) | ○日常的な外出支援<br>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している                      | 希望に添いスーパーや日用品購入の外出支援を行っている。また、毎月、気分転換や外出の計画を立て外出の機会を確保している。                                              | 食材の買い出しや、日用品購入、家族との外出を楽しむ機会を設け、利用者の気分転換が図られている。外出時は地域の方々からも気軽に声をかけられるなど、馴染みの関係が生活の活性化に繋がっている。                                      |                   |
| 50 |      | ○お金の所持や使うことの支援<br>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している                                                  | ご利用者の状況に合わせ、法人と金銭管理契約を結び、お金を預かる支援やご利用者の日用や必要とするものの購入に関し、買い物同行する等支援を行っている。                                |                                                                                                                                    |                   |
| 51 |      | ○電話や手紙の支援<br>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている                                                                           | いつでも管理者室に出入りし、電話を掛けられるような体制を整えている。ご本人から希望があった場合には、電話を使用できるよう支援している。                                      |                                                                                                                                    |                   |
| 52 | (19) | ○居心地のよい共用空間づくり<br>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | ホールには大きな窓があり、外の光が入るようになっている。また、窓からは洗濯物や緑が見えるようになっている。また、ホールには季節を感じてもらえるよう花や工作した作品などを飾り季節感を感じられるよう工夫している。 | ホール内には近づく夏の陽光も優しく、目の前の小高い丘には山菜なども見られるなど、四季折々の風景に恵まれている。共有スペースには季節感のある花や共に力を合わせて作成した作品等も飾られ、季節感を感じながら利用者がゆったりと過ごすことが出来ている雰囲気を感じられる。 |                   |

| 自己 | 外部   | 項目                                                                                      | 自己評価                                                                  | 外部評価                                                                                                                            |                   |
|----|------|-----------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------|
|    |      |                                                                                         | 実践状況                                                                  | 実践状況                                                                                                                            | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 53 |      | ○共用空間における一人ひとりの居場所づくり<br>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている             | 気の合ったご利用者同士居室を行き来し、時間を過ごせるよう居室に椅子を配置するなど環境整備を行っている。                   |                                                                                                                                 |                   |
| 54 | (20) | ○居心地よく過ごせる居室の配慮<br>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている | 備え付けられている家具やベッド以外の物でもご本人が使い慣れた家具や日用品を持ち込んでもらい、居心地のよい居室作りに配慮している。      | 居室内は自宅で使用し慣れ親しんだ家具など持参してもらい、思い思いの配置で使ってもらい、その人の生活の延長線上に配慮された居心地の良い空間となっている。利用者からも掃除や整理整頓など、できる範囲で作業をしてもらい、できる力を発揮した生活支援がなされている。 |                   |
| 55 |      | ○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり<br>建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している    | トイレには表記を行い、居室がわからない方には、「個人情報の使用にかかる同意書」に添い、名前を貼り付けたり目印をつけるなどして対応している。 |                                                                                                                                 |                   |